

競争入札経過調書（最低価格落札方式）

件名 成田国際空港電力監視制御装置一式の製造

開札年月日 平成28年9月9日（落札決定日 平成28年10月7日）

開札場所 東京航空局

落札金額 ￥48,600,000 -

落札者 (株) 日立製作所

予定価格 ￥170,585,861 -

積算額 ￥170,585,861 - 入札書比較価格（予定価格の100/108） ￥157,949,872 -

調査基準価格 ￥102,351,516 - 調査基準価格の100/108 ￥94,769,923 -

低入札価格調査実施済 第1回目落札

入札参加者	第1回入札	第2回入札	摘要
	入札金額	入札金額	
(株) 日立製作所	45,000,000		落札
富士電機(株)	55,000,000		
(株) 東芝	104,800,000		

※ 入札金額は入札者が見積もった契約希望金額の108分の100に相当する金額である。

※ 予定価格（入札書比較価格）の制限の範囲内で最低価格をもって有効な入札を行った入札者を落札者とする。

※ 落札決定に当たっては、入札書に記載された金額に当該金額の8%に相当する額を加算した金額（1円未満の端数は切り捨て。）をもって落札金額とする。

低入札価格調査の実施概要

件 名 : 成田国際空港電力監視制御装置一式の製造

調査を実施した業者名・住所 : 株式会社日立製作所 東京都千代田区丸の内1-6-6

項 目	内 容
① その価格により入札した理由	<p>下記の理由により入札金額を検討した結果、品質に影響を与えること無く価格低減策が実現可能なことから今回の価格により入札を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自社が設置している設備の継続受注を最重要案件と位置付けている。 ・筐体等のハードウェア制作・組み立てを加工単価の安価なグループ企業に委託することによりコストの縮減が可能。 ・自社が施設を設置している場所であることから現場の設備及び運用状態を把握するための工数を大幅に短縮することが可能であり、また、自社の既設ソフトウェアを活用することにより、労務費のコスト縮減が可能。 ・主要構成部品の一括生産を実施するなどによりコスト縮減が可能。 ・過去の実績から作業要領を整理し、工数の低減が可能。
② 当該契約の履行体制	技術者等5名の配置及び一部の制作物についてグループ会社への再委託を予定。
③ 当該契約期間中における他の契約請負状況	・札幌航空交通管制部電力監視制御装置一式の製造 ／東京航空局
④ 手持機械等の状況	筐体部分の制作に関して、再委託予定先が保有している機械を使用予定。
⑤ 国及び地方公共団体等から過去において受注・履行した契約件名及び発注者	<ul style="list-style-type: none"> ・つくば中央・東地区特高受変電設備他改修その他工事 ／独立行政法人産業技術総合研究所 ・H24八潮排水機場操作制御設備修繕工事 ／関東地方整備局 ほか
⑥ 経営内容	官公庁発注の業務を数多く手がけている。
⑦ ①から⑥までの事情聴取した結果についての調査検討	<ul style="list-style-type: none"> ・本件について、受注戦略の判断による非常に高い受注意欲から一般管理費及び利益について大幅な低減を図っていることを確認した。 ・同種部品の一括生産や、加工単価が安価なグループ企業と分担して制作をすることにより材料費及び工数の低減を図り、過去に本件箇所の設備を製作している実績から製作に係る設計のうち基本的な部分の工数短縮を図ることにより、労務費の大幅な軽減を図っていることを確認した。なお、使用している労務費単価は当局積算と同等以上となっている。 ・仕様書で求める数量についてもれなく計上していることを確認した。 ・当該業者の組織体制の構築状況から、本製造の実施及び品質管理に関して、実施・管理体制に支障があるとは認められない。 ・その他、本業務を実施するための要件について、問題が発生するおそれがある事項は認められない。 <p>以上のことにより、発注仕様に基づく適切な製造が実施可能であると判断する。</p>
⑧ 信用状況	特段問題なし
⑨ その他必要な事項	なし